

議 事 概 要

会議名	令和5年度 第3回 男女共同参画センター運営協議会	
日時	令和5年10月13日(金) 19:00~21:00	
場所	中央公民館 3階 第一会議室	
出席者及び 欠席者	出席者	14名
	欠席者	なし
	事務局	町民生活部 町民活動課 男女共同参画センター
	傍聴者	なし
次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度講座について ①第1~2回講座の結果報告 ②第3回講座の準備状況報告 ③第4回以降の講座について (2) パネル展について (3) センターだよりについて (4) 小学生向けリーフレットの作成について (5) その他 4 閉会	
あいさつ (会長)	<p>講座、その他、本協議会に係る事項について、皆さんからメールでいろいろご意見をいただいているようで、とても良い方向・方法だと思っている。</p> <p>このような会議の場だと、なかなか個の意見は言いづらい、答えづらい面がある。それをメールにすることで、会議の後に考える時間が生まれ、様々な意見を言える場というのをつくったのは良かったのではないかと思う。</p> <p>せっきくの貴重な時間なので、今日考えるべきことは何かというのをしっかり把握した上で、実のある皆さんの意見を聞かせていただけたらと思うので、よろしく願います。</p>	
	<p><ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会></p> <p>当該講演会のチラシを別途配付し、事務局から講演会についての案内を行った。</p>	

議 事 概 要

議題	<p>(1) 令和 5 年度講座について</p> <p>①第 1～2 回講座の結果報告</p> <p>事務局から説明後、質疑応答。</p>
事務局	<p><第 1 回講座> 「キャノン環境出前授業」</p> <p>当初、応募が 6 組から伸び悩みどうなるかと思っただが、各方面への案内を継続し、委員各位にも応援をお願いするなどした結果、最終的に 15 組の応募があった。</p> <p>当日は 1 組の欠席はあったものの、保護者 14 人、子ども 19 人の参加があり、活気のある講座となった。</p> <p>参加者からは、資料 1 のアンケート結果の 5 のとおり、非常に高い評価をいただき、子ども用アンケート用紙には楽しい絵も描かれていた。</p> <p>JCOM の取材があり、9/1 から 1 週間 18 時台の地域ニュースの中で放映された。また、読売新聞の取材もあり、8/29 の地方版に記事が掲載された。当センターについても良いアピールが出来たのではないかなと思う。</p>
事務局	<p><第 2 回講座> 「サイバー犯罪の現状と被害防止策」</p> <p>チラシ作成について、委員各位からのご意見を伺いながら作成することができた。委員からいただいた講座内容に関するご意見等については、事前に講師に伝えて反映させていただいた。</p> <p>応募者獲得については、第 1 回講座同様、こちらも委員各位にご協力をいただいた。</p> <p>16 人の申込があり、当日は 14 人の参加があった。当協議会委員の方にも参加いただいた。</p> <p>講師は現職の警察官であり、実例を交えて丁寧にお話いただいた。</p> <p>参加者からは、資料 2 のアンケート結果のとおり、高い評価をいただいた。</p> <p>参加者の中には熱心な方がいて、自分のところに送付されてきた怪しいメールを持参し、講師に相談する場面もあった。</p>
井上委員	<p>【質疑応答】</p> <p>資料 1 のアンケート結果に子どもの人数の記載がない。子ども向け講座でもあり、記載しておくべきではないか。</p>

議 事 概 要

事務局	<p>今回の参加者数は、保護者 14 人、子ども 19 人、計 33 人であった。ご指摘のとおり記載すべきであった。次回以降は気を付けたい。</p>
佐藤委員	<p>講師の人数が非常に多いのには何か理由があるのか。</p>
事務局	<p>環境出前授業について、キヤノンでは社をあげて力を入れていきたいと考えているとのこと。しかし、茨城県南部エリアでの実績が乏しいことから、経験の蓄積も兼ねる意図も含めて今回の対応となったと聞いている。</p>
	<p>②第 3 回講座の準備状況報告 事務局から説明後、質疑応答&総合討論。</p>
事務局	<p>「広報あみ」掲載文、チラシについて、委員各位のご意見を伺いながら進め、「広報あみ」については本日（10/13）発行された。</p> <p>本講座の対象は、心に不調を抱える当人ではなく、その周囲の方という設定としている。運営協議会やその後の委員からの講座内容に関するご意見等については、事前に講師に伝えている。総論のところでは自身のセルフケアについても触れてほしい旨も伝えている。</p> <p>チラシの現行案が資料 3 となる。デザイン及び中段の説明文については委員の方から特に反対意見はなかった。</p> <p>一方で、主題について、「メンタル不調者」という文言に賛否（キツイとの意見、これに代わるソフトで適切な文言はないか）があった。</p> <p>また、中段の文言「誰かが～あります」の文字間が近い、「救われます」は宗教っぽいのでは、といった声もあった。</p> <p>現行案についてご意見を伺ったのち、来週早々には各方面に募集のための周知を図りたい。</p> <p>委員各位には、ご自身の参加、周囲への案内などご協力をお願いしたい。</p> <p>【質疑応答&総合討論】</p> <p>「メンタル不調者」というのはおかしいと思うし、そのような言葉はないのではないか。例えば「メンタルに悩みを抱える人」とか。</p>
井上委員	

議 事 概 要

高野委員	この主題からイメージすると、メンタルが不調な方も周りの方も両方対象にしているように感じた。そうだとしたら、中段の説明文をちょっと変えた方がいいかなと思った。
事務局	前回の議論で、本講座の対象は「周りの方」とした。
会長	「周りの方」を対象としていると感じたということであれば良いことではないか。
新橋委員	主題、副題等について、専門家（講師）と話しているのか。専門家が問題ないとするならいいのではないか。
事務局	講師には広報誌の掲載文を検討する際に意見を伺っているが、特段の指摘はなかった。しかし、「メンタル不調者」という用語の是非について個別には確認していない。
遠藤委員	このチラシ（案）は講師に渡しているか。
事務局	渡していない。本日の結果をもって内容が確定してから提供することとしている。
新橋委員	「心の不調」はよく聞くけれど「メンタル不調」は馴染みがない。「心」も「メンタル」も同じではないかと言われればそれまでだが、「メンタル」は表現的にわかりにくい人もいるのではないか。
事務局	やはり「不調者」というのが良くないとのこと。「心が不調そうな人」を表現する良い文言があればお願いしたい。
井上委員	やはり「不調者」は良くないと思う。それから、「メンタル」という言葉は「心」をオブラートに包んだような言い方かなと思う。
事務局	ネットの中では、相談室やメンタルカウンセリングのところで「メンタル不調」という言い方はしている。「メンタル不調者」の「者」を取る形で講師と相談するか。
木村委員	ネットによれば、厚生労働省のところに「メンタルヘルス不調」とい

議 事 概 要

	<p>う用語は出てくる。しかし、主題としては「メンタル」より「心」の方が柔らかく感じる。主題は「心の不調」を用い、中身は「メンタル不調者を出さないために・・・」とするのはいかがか。もう少し普段聞きなれた言葉を入れた方がよい。</p>
会長	<p>当事者にとって「メンタル」という言葉は飛びつきやすいと思う。参加者を募集する時に響くのではないかと思う。広く一般受けするものではなく、目的とする対象者に届く言葉を考える、キャッチ・コピーなどは少し際どいくらいの方がいいような気がする。</p> <p>私も最初は「メンタル不調者」という言葉は気になった。メンタルが落ちている人に失礼になるのでは、これを見た時嫌な思いをするのではないかと。もし気になるなら「者」を取る。しかし、そうなると対象者を特定していないイメージになるなどこれまでの意見を聞いて思った。</p> <p>一つの言葉にそんなに意識しなくても、これで何を指したいのかが伝わることを意識したほうがよいのではないか。</p>
佐藤委員	<p>内容についてではないが、別の講演会資料のように講師の顔写真を載せてはどうか。</p>
事務局	<p>QR コードのスペース、講師への写真の提供依頼などの問題から、今回は時間的に厳しいかもしれない。</p>
井上委員	<p>「者」を取るとしたら、後ろの文言を変える必要がある。そうでないと意味が通じなくなる。</p>
会長	<p>これまでの議論を踏まえると、主題については、資料3の「2.チラシ & ポスターの題名について（検討材料）」の（1）主題②「メンタル不調のサインを見逃さないために」でどうか。</p>
委員各位	<p>主題は「メンタル不調のサインを見逃さないために私たちができること」です。</p>
遠藤委員	<p>講師とも共有しておく。</p>
会長	<p>先ほど佐藤委員からの意見にもあったが、写真なりイメージがわく</p>

議 事 概 要

	<p>ようなものが少しあるだけで講座のイメージが伝わると思うので、そういったものがあつたほうが良いかなと思う。どのような人が講師なのかということも選択基準になるので。</p>
井上委員	<p>中段の説明文のフォントを下げ小さくし、写真を入れても講師は断らないのではないか。</p>
会長	<p>大きい文字と小さい文字のメリハリがあつても良い。</p>
事務局	<p>チラシについて、主題、写真、フォントといったところの整理がついたので、それらを踏まえて修正し、決裁の後、周囲に配布して行きたい。</p>
	<p>③第4回以降の講座について</p> <p>事務局から説明後、質疑応答&総合討論。</p>
事務局	<p>本年度の講座開催数は当初5件と想定していた。</p> <p>そのため今回、最低でも第4回講座、可能なら第5回講座まで決定する必要がある。</p> <p>現状から、開催時期は第4回が来年1~2月、第5回2月から3月頭くらいにせざるを得ないと考えている。</p> <p>令和6年度前期の講座についても、次回第4回会議には候補を絞り、進めたいところ。</p> <p>このあと、具体的なお提案やご意見をいただけると助かる。</p> <p>講座内容によっては、当センター単独開催ではなく、関係する部署や団体との共催も検討してはどうかと考えている。</p> <p>検討に入る前に、前回会議から今日までにいただいた委員からのご意見等について3点ほど簡単に説明・報告させていただく。</p>
事務局	<p><過去の男女共同参画センター講座の実績について></p> <p>委員から、過去の講座開催実績について紹介しておいた方が良いとの助言があつたので、資料4「年度別男女共同参画センター講座一覧」を用意した。参考にさせていただきたい。</p>
事務局	<p><大学生を交えた討論会形式の講座について></p> <p>前回会議で「大学生を交えた討論会形式の講座」について言及があつた。</p>

議 事 概 要

	<p>前回話したとおり、この件で茨城大学の佐藤先生に連絡し、令和6年度に向けての講座の可能性について伺った。</p> <p>佐藤先生からは、「水戸から学生を連れて行くとなると一日がかりになる・実習やその他諸々あるので複数の学生を集めるのは難しい・阿見町内や周辺市町村の大学に声掛けしたほうが良いのではないかと・自分は教育学部であり希望のテーマには添えないのではないかと」といった発言があり、依頼は難しいと判断した。</p> <p>専門分野における講師派遣依頼制度があるということで、茨城大学本部の社会連携課地域連携グループの連絡先の紹介を受けたが、原則としてはこちらで講師候補を自ら探す必要がある。</p> <p>これに代わる講座として1つ候補を挙げているので、後ほど紹介したい。</p>
事務局	<p><防災講座について></p> <p>前回会議後、委員から「防災講座」に係る講師候補について情報提供があった。</p> <p>防災士会との兼ね合いなど整理を要する。また、防災をテーマとする講座は、何を主眼に置くかにより、講師、内容ほか様々なバリエーションが考えられる。現時点ではそれらの整理が第一であり、その上で企画して行く必要があると考えているところ。</p>
委員各位	<p>【質疑応答】</p> <p>上記3件について特段なし、了。</p>
事務局	<p><参考について></p> <p>講座候補を全て（ア～ス 13件）共有する。</p> <p>最初の3件を除き、先方と未接触か、講師未定のもの。関心があるものについては、講座企画立案に向け進めてみる。講師とテーマをセットで情報入手できればアプローチしやすいが、テーマ・内容を決めてから講師を探すのは難しいので、委員各位からも情報をいただきたい。</p> <p>具体的なご提案や関心のあるもの、ご意見をいただきたい。</p>
委員各位	<p>【質疑応答】</p> <p>特段なし。</p>

議 事 概 要

事務局	<p>講座候補 13 件について、資料とともに簡単に紹介する。</p> <p>ア. 映画上映会&パネル展「私は男女平等を憲法に書いた」 資料 5</p> <p>事務局としては直接見たことはなく、宮崎市から印象をお聞きしたただけだが、パネル展も合わせると、それなりの内容かなと思っている。</p> <p>放映時間は 72 分で、専門家の解説がほしいところだが、その用意はない。</p> <p>イ. キャッシュレスに対する講座 資料 6</p> <p>昨年度の夏休み企画とした講座「キッズ・マネーすごろく」の講師所属会社が企画する講座で、キャッシュレス社会の中で保護者からの要望が増えているもの。</p> <p>小学校 4 年生くらいまでのコースと高学年用のコースなどがあり、模擬体験を通じて学ぶものとのこと。子ども向け講座を行った人たちによれば、子どもは実際に子ども自身が動いて物を作ったり体を動かすことに興味を示すとのことなので、そのような内容になっていると思う。</p> <p>ウ. 気象予報士による防災出前講座 資料 7</p> <p>茨城支部の気象の専門家である気象予報士に、以下の点など伺いたいとして打診した。</p> <p>A 基本的な気象の知識 B 阿見町周辺の気象的な特徴、想定される気象災害 C 気象災害から身を守る方法</p> <p>先方からは、「気象を学んで災害から身を守る」をテーマに気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨、その時どうする？」を阿見町向けにアレンジするとのお話があった。</p> <p>もしやるとしたら、前回ご意見のあった「女性などの視点」も入れたものになるように伝えたいと思う。</p> <p>いずれにしても、事務局としては来年度前期の候補の一つに挙げたいと考えており、梅雨前を想定している。</p> <p>エ. 茨城大学水圏環境フィールドステーションの教員による出前講座 資料 8</p> <p>潮来市に水圏環境フィールドステーションがある。</p> <p>次年度の夏休み企画の候補になるかもしれないと考えているが、天気に左右されやすいことが懸念される</p>
-----	--

議 事 概 要

オ. 相続について考える講座 資料 9

個人事務所のパンフレットだが、この方は以前コープで葬祭事業に携わっていた方で、以前 2 回ほど講座を行っており、話がわかりやすかったとのこと。

終活ノートといった一般的・基本的なものではなく、もっと踏み込んだ内容を想定している。例えば家族信託など先々の認知症対策に主眼を置いたものを想定している。

どこかとの共催の可能性についても検討してみたい。

カ. お薬講座 資料 10

茨城県薬剤師会が県の委託を受けて行う健康教室であり、質問時間を設けて個別の質問にも対応し、講演内容についての希望があれば相談に応じてくれる。

服用する薬の種類が増加や飲み合わせが問題になっており、今後ますます増えるので、大きな問題と考える。

どこかとの共催の可能性についても検討してみたい。

キ. テレ朝出前講座 資料 11

テレビ朝日の出前講座で、子ども用と大人用があり、内容は相談の上決めるとのこと。

申し込みの上、抽選で決定するとのことであり、次年度の開催を希望するのであれば早めに申し込む必要がある。申し込むとすれば、会場などの条件のほか、希望の内容も伝える必要がある。

講師はテレビ朝日の職員で、テーマはいろいろあるとのこと。

ク. 産総研「出前講座・実験教室」

つくば市にある産業技術総合研究所 HP に掲載がある。今回は資料として用意はしていない。

大きく 2 つのコース（講義中心、実験中心）がある。

講師の交通費+宿泊費+日当を考え、講師勤務地が茨城県とあるものに限定する。

テーマは一覧の中から選択することになるが、興味を引くテーマがあるかによる。年度によってテーマは変わる。

専用トレーラーが来て、 -196°C の世界を紹介するといったものもあった。

議 事 概 要

ケ. 花王出張講座（おでかけ応援講座） 資料 12

花王グループカスタマーマーケティング㈱が行うもので、この会社は花王の製造製品と消費者を結ぶ活動を行っている。他の自治体でも協定を結んで、福祉の観点で活動しているそう。

洗たく、メイク、フレイル予防などの内容をテーマとしている。

フレイル予防、高齢化社会を考える上で、今回紹介する資料である「おでかけ応援講座」は今後ますますの需要があるのではないと思う。

どこかとの共催の可能性についても検討してみたい。

コ. ダイバーシティ推進センター出前講座「ぼらりす教室」 資料 13

大学生を交えた討論会形式講座に代わるものとして挙げた。

県が講師を派遣する。コース（種類、プログラム）はいろいろあるが、プログラム名「気付こう！身近にあるダイバーシティとあなたの中のアンコンシャス・バイアス」を考えている。

今年度は終了しているので、やるとすれば次年度となる。

学生にも関心をもってもらい、参加してもらおう手立てを考える必要がある。

サ. ハラスメントを考える

資料はない。

1990年代の改正男女雇用機会均等法でセクハラ規定が設けられ、以後様々な「〇〇ハラスメント」が生まれている。一般的に定義づけられているものだけでも30以上あるとのこと。

どのようなハラスメントがあるのか、どのようなことがハラスメントに該当するのか、知らず知らずにハラスメント行為を行っていないか、自分の頭の整理と行いを顧みる・省みる機会を提供する。

現時点では講師候補に当てはない。弁護士などの法律の専門家が想定される。

シ. ペット防災

資料はない。

9/15 に町民活動センター主催の市民活動団体交流会に参加した際に、「NPO 法人アニマルセラピー協会」の方と話す機会があった。

災害時、大切な家族であるペットを守るためにはどうすればよいか。避

議 事 概 要

	<p>難所の問題など様々なことが考えられる。</p> <p>防災を別の角度で考えることについて、このテーマに関心がある団体等と講座として共催できないか検討の余地があると考えているところ。</p> <p>ス. 歴史から見えてくる男女共同参画</p> <p>前回会議で発言があったもの。『歴史の授業の様態で、男女に係る社会状況を「こういった社会だった」と過去のこととして紹介することで、それがその当時の常識だったが今見るとおかしなところばかりで不公平・不平等に見えたりするところがあることに気付いてもらう。その気付きがないと、無意識のうちに自分も同じことを繰り返す可能性がある。そのことを知る機会になる。』</p> <p>追加資料として用意した「男女雇用機会均等法から 30 年の歩みパネル展 (国立女性教育会館 NWEC 女性アーカイブセンター展示パネル貸出)」を見つけた。ただし、2015 年までのことで、それ以降のことは更新されていない。</p> <p>専門家による解説、講話を踏まえて自由討議の形が望ましいと考え国立女性教育会館に尋ねたところ、メールで企画案を教えてもらえれば、確約はできないが対応可能か検討してみるとのこと。会議結果 d をもって Go サインが出ればメールすることとしているが、いかがか。</p> <p>【質疑応答&総合討論】</p> <p>会長 「コ. ダイバーシティ推進センター出前講座 ぼらりす教室」と「ス. 歴史から見えてくる男女共同参画」について今年度は外すと理解していいか。</p> <p>事務局 「コ」は今年度募集終了、「ス」は 1 からとなると今年度は難しい。よって外すことになる。ただし、「ス」については国立女性教育会館に次年度あたりに講座になりうるか打診しようと考えている。</p> <p>会長 紹介のあった 13 件について、「男女共同参画」との結びつきが気になると思う。この件は前回会議で整理し、狭義ではなく広義に、ダイバーシティ (多様性) といったところを意識してとらえ解釈するとした。そうは言ってもちょっと離れているなど感じるものもあるかもしれないが。</p>
--	---

議 事 概 要

	<p>4回目と5回目の講座を決める必要があること、講座の参加者を集める必要があること、講座の内容と合致した講師を選択しなければならないこと、思うところはたくさんあるとは思いますが「決める」というところを意識していただきご意見を伺いたい。</p>
井上委員	<p>「キ. テレ朝出前講座」は直ぐ申し込んではいかがでしょうか。二所ノ関部屋との共同とすれば力士の参加など宣伝になるかもしれない。</p>
事務局	<p>次年度の申し込みがいつから始まるか確認する。</p>
井上委員	<p>「ク. 産総研 出前講座・実験教室」は費用がかかるのではないか。</p>
事務局	<p>交通費+宿泊費+日当がかかる。しかし、本部のあるつくば市在勤の講師であれば日当のみになる。なお、手続きとしては大学と同様に兼業許可が必要になるかもしれない。</p>
佐藤委員	<p>個人的に気になるのは「ウ. 気象予報士による防災出前講座」。 第2回講座「サイバー犯罪の現状と被害防止策」の出席者も少し高齢の方が多かったので、そういう方が求める、例えば相続／お薬／フレイルといったところに人が来るのかなと思う。 あと、講座アンケートの項目に「希望する講座」があったと思うので、それも参考にしてください。</p>
事務局	<p>講座アンケートにはジャンル別に希望講座の有無を聞く項目がある。</p>
会長	<p>参加者の年齢層が比較的高いので、そういう方に合わせた講座を考えてはどうかという提案と理解。 個人的は「ウ. 気象予報士による防災出前講座」が面白そうだった。阿見を考慮した内容なので。</p>
遠藤委員	<p>以前「ステップアップあみ」で遺産相続についての講座があり、大勢の参加があった。実際に夫を亡くした時にその講座が参考になったという声も聞いている。質問に対しても耳障りのいい言葉ではなく、はっきりと答えていて印象に残った。 もし阿見町が依頼している弁護士がいるのであれば無料でお願ひし</p>

議 事 概 要

	<p>てみてはどうか。</p>
事務局	<p>阿見町が依頼している弁護士がいるかどうか確認してみる。</p>
会長	<p>「ス. 歴史から見えてくる男女共同参画」が面白そうだ。資料のような視点で歴史の変遷を見るのも面白いと思った。</p> <p>男女共同参画というものに携わるようになって最初に気になった点が、女性がなかなか働きづらいということ。個人的な話だが、同行者が年上の男性だと、その男性の方が立場が上とみられる。まだ世の中はそのようなものなのかと強く感じる。やはり、男女共同参画といったところは、たぶん女性にとってすごく意識するものと思う。この資料は今言ったことに近い観点のものなので興味がある。</p>
事務局	<p>パネルの貸し出しあり。ファイルも提供してもらえる。ただし、昭和12年生まれから昭和52年生まれの方まで、男女雇用機会均等法から30年までで、その先の資料はない。</p>
遠藤委員	<p>資料には女性への暴力について触れているところがあるが、昨今は男性への暴力も話題となっている。こういったことも反映されれば良いのではないか。</p>
事務局	<p>講座にするには適当な講師を探す必要がある。先ほども説明したが、企画案を国立女性教育会館担当者にメールすれば対応可能か検討いただけるとのこと、委員各位の関心も高いようなので、後日メールしてみる。</p>
井上委員	<p>茨城大学に講師候補はいないか。</p>
事務局	<p>歴史、法律、世相といったところを合わせてお話いただける人を探すのは難しい。</p>
迫田委員	<p>(茨城大学に) ダイバーシティ推進室はあるものの、適当な講師となると情報は持っていない。</p>
事務局	<p>ご検討いただいた中で、関心の高かったものは、「ウ. 気象予報士による防災出前講座」「オ. 相続について考える講座」「カ. お薬講座」「ケ.</p>

議 事 概 要

	<p>花王出張講座（おでかけ応援講座）「ス．歴史から見えてくる男女共同参画」といったところと理解した。</p> <p>ただし、今年度の第４回・第５回講座となると、実施できる可能性の高いものは「ア．映画上映会&パネル展」と「イ．キャッシュレスに対する講座」になる。</p> <p>「ウ」については、次年度前期の梅雨前あたりの開催を念頭に連絡をとってみる。</p> <p>「キ．テレ朝出前講座」は、申し込みについて再度確認してみる。</p>
<p style="text-align: center;">会長</p>	<p>次年度ということであれば、「コ．ダイバーシティ推進センター出前講座」も候補として挙げておいてほしい。学生を集めるといった課題もあるが、一般だけでもいいかもしれない。仕切る人も県から専門家が派遣されると聞く。</p>
<p style="text-align: center;">事務局</p>	<p>本日のご検討の結果、今年度の第４回・第５回講座は、「ア．映画上映会&パネル展」及び「イ．キャッシュレスに対する講座」とし、準備を進める。そして、「ウ」以下については、委員各位の関心の高いものを優先しつつ情報収集に努めて進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">会長</p>	<p>事務局の整理のとおり、第４回・第５回については現状から致し方なしとして了とする。「ウ」以下のについても、事務局の整理で了とする。</p> <p>次年度について、これまでは検討の時間がなく、新年度になると当会に諮らないままに講座が決定しまっている状況であったが、今年度は次年度に向けての案の提示もあり、検討の機会もあるので、ご意見等をお寄せいただきたい。</p> <p>講座についての整理は以上のとおりでよいか。</p>
<p style="text-align: center;">委員各位</p>	<p>了。</p>
<p style="text-align: center;">事務局</p>	<p>(2) パネル展について</p> <p>事務局から今後の予定についての説明があった。</p> <p>委員各位にも是非足を運んでいただきたい。</p> <p>(3) センターだよりについて</p> <p>事務局から今後の予定についての説明があった。</p>

議 事 概 要

	<p>(4) 小学生向けリーフレットの作成について 事務局から説明後、質疑応答&総合討論。</p> <p>どのような内容・イメージが良いか、第1回会議での議論から、一般的なもの学校でもやっていて、子どもたちもある程度知っているの で必要ないとなった。</p> <p>次に、小中学生意識調査結果から、意識として改善が必要な項目を材 料にしてはどうかとの意見があり、項目の抽出から始めて練っていく 方向が示された。</p> <p>これを受けて事務局として検討した結果、あれこれ項目を並べるよ りも、阿見町第4次男女共同参画プランに記載のある「無意識の思い 込み（アンコンシャス・バイアス）」を前面に出すことを提案させてい ただく。</p> <p>基本理念、基本目標、施策の方向性、施策の内容のどれもが、行きつ く先は「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」の解消が重 要だということにつながる。</p> <p>テーマを絞って繰り返すことで効果が生じるのではないかと考え る。</p> <p>今回は方向性としていかがか、お諮りする。</p> <p>何かちょっとした機会に小学生等に配るとかして、そこで一言触れ るためのものになれば良いと考えている。</p> <p>イメージとして資料14を用意した。デザイン等については、今後、 意見を伺いながら作成したい。</p> <p>【質疑応答&総合討論】</p>
事務局	
事務局	<p>子どもたちは、「男女共同参画とは」といった一般的なことは概ね認 識しているが、その中で気になるのが「決めつけ」であり、そこにフォー ーカスすると理解。</p> <p>HP等を見ても、「アンコンシャス・バイアス」に関する子ども向け リーフレットがなかなか見当たらない。ページ数の多いものはあるが。 一方で大人向けは多くある。そこで、大人用を参考に子ども版を作成で きないかと考えた。</p> <p>なお、「男女共同参画とは」といった一般的なものは大人用も子ども</p>

議 事 概 要

	用も多数あるので、子どもでも容易に調べることができる。
新橋委員	直感的だが、子ども用はわかりやすいものの、大人用は表現が子ども用と同じようで少し違和感を覚えた。
井上委員	何年生を対象に考えているか。
事務局	小学校高学年を対象として想定している。
井上委員	このことは小学校低学年にはそもそも難しい。高学年向けとしては表現が難しいのではないかと思う。
事務局	今回は方向性についてであり、内容については今後ご意見を伺いながら進めたい。
委員各位	方向性については特段の異論なし。
井上委員	教育委員会と話をしているか。
佐々木委員	方向性については了だが、内容は相当吟味を要する。作成の際に想定する対象、その対象に見合った言葉や漢字、そして、教育委員会には絶対通しておくべきと考える。
事務局	作成を進める中で、教育委員会の指導室には諮る必要があると考えている。
佐々木委員	<p>一般の大人でも英語「アンコンシャス・バイアス」の意味が分かっていない人がほとんどではないか。すごく難しい言葉なので、英語をやった人でないと直ぐピンとこないと思う。それをさらにもじって「アンコン」と書いてあるが、そのあたりも吟味を要すると思う。</p> <p>この言葉は、簡単に言えば「思い込み」。「思い込み」という日本語もあるのだから、敢えて横文字を使う必要があるかというのを感じる。</p>
事務局	「アンコンシャス・バイアス」の日本語訳は様々あるが、私たちは「思い込み」を選択している。「偏見」といった言葉は強い（キツイ）かなと考えたため。

議 事 概 要

佐々木委員	<p>大人向けも含め、「アンコンシャス・バイアス」という言葉を覚えるためのリーフレットなのか、何のためのリーフレットかがわからなくなる。</p> <p>一般の人から見て難しそうなのをやっているなど思われたら、それだけで拒絶されてしまう。そのあたりも考えたほうがいい。</p>
会長	<p>資料を見て気になる点があった。例えば、血液型でこの人はこういう人だと判断してしまうのは絶対にいけないと言い切るのは少し危険だと思う。世の中には占いや血液型性格判断のようなものはあり、それで子どもたちが盛り上がりたりする。それを絶対にいけないといった書き方にしてしまうと、それを言った方を責めるようになってしまうのではないかと思う。</p> <p>ここでの趣旨は、決めつけによって相手が不愉快な思いをしたら、それはダメだよということだと思う。こう言うのはダメ、ああ言うのはダメと書くなら余計気を付けるべき。逆な決めつけをするような文章にしてはいけないと思う。</p> <p>何かの言葉に対して、人はそれぞれイメージを持つ。イメージを持つことはダメという方向に繋がりがかねない。その決めつけに対し、子どもは反応し決めつけるようになる。イメージを持つのは悪くないといったメッセージを追加することも考える必要があると思う。</p>
井上委員	<p>一番のポイントは、「あなたが言われて嫌な気持ちになる言葉は使わない」。これが出発点だと思う。</p>
新橋委員	<p>小学生向けということで、中学生を外しているが。</p>
事務局	<p>配布対象を限定しているわけではない。理解度については個人差もあるので、極論すれば、大人へ配布しても良いと考えている。大人でも子供向けの本で学ぶケースもある。</p> <p>HP等で世間一般各市町村が作成しているのを見ると、中学生向けとうたっているものの内容は大人用とあまり変わらない難しい内容となっているのが現状である。</p> <p>中学生も視野に入れたものにするか、今後相談して行きたい。</p>
井上委員	<p>中学生となると、また指導要領との兼ね合いも考慮する必要が出て</p>

議 事 概 要

佐々木委員	<p>くる。</p> <p>子どもに至っては、使用する言葉遣いというのがなかなか難しいところがある。</p> <p>思い込みがどんどん重なると偏見になってくるし、そうなると対応する英語（bias から prejudice）も変わってくる。日本語も英語も、使い方や使用環境によって意味合いが全然違ってくる。</p> <p>そのあたり、小学生に敢えて使う言葉としては、やはり注意が必要だと思う。</p>
会長	<p>方向性については了となった。実際に作成するにあたっては皆さんで議論しながら、関係者（教育委員会、その他）とも連携しながら進めると理解した。</p> <p><全般についての自由討論></p>
長尾委員	<p>概ね同感だったので敢えて発言はしていなかった。講座については「ス．歴史から見えてくる男女共同参画」はぜひ企画してもらいたい。</p>
今坂委員	<p>子ども向けリーフレットについて、これ（資料 14）一枚で全部伝えるのは難しいけれど、その中でもいろいろ書かれてあっていいなと思った。</p>
近藤委員	<p>「アンコンシャス・バイアス」の話で、血液型に替わるものとして服装や見た目とかを使用してはどうか。また、漫画にして「こういうのは良くないよね」とすれば入口として入り易いのではないか。</p> <p>第 3 回講座のチラシについて、「無料」というところ、得なところは大きく出して良いのではないか。</p>
迫田委員	<p>「アンコンシャス・バイアス」の話で、自分自身も普通に生活していて気をつけなきゃと思う節が多々あって、こういうのをあらためて大人も子どもも考える機会としてリーフレットを作るというのは良い取り組みだと思う。</p>
緑川委員	<p>次年度以降の講座案として、2 件ほどお伝えする。</p> <p>一つ目、9 月に高校生会ができた。町内には霞ヶ浦高校しかないが、</p>

議 事 概 要

事務局	<p>例えばその JRC ボランティア同好会の子どもたちに活動を紹介してもらおう。</p> <p>二つ目、防災時の、例えば避難所では男女が混じって暮らすことになり結構問題が生じる。町の方で災害の連携協定を結んでいるところがいくつかあると思うが、そういうところと連携して話をする。</p> <p>ところで、子ども向けリーフレットは小学生に対し配るのか。</p> <p>子ども向けリーフレットの利用方法としては、講座やパネル展などの催しの際に関心のある方に持っていってもらおう。それが子どもでも大人でも構わないと考えている。大人でも子ども用のものの方が理解しやすいと思うこともあるので、そのあたりは臨機応変にと考えていて、積極的に配るというより自分たちが説明しやすいために使用することもあるだろう。</p>
緑川委員	<p>大人が敢えてレベルを下げて読むというのはいいと思うが、普段の取材の経験から、小学生は読まない。この半分の量でも読まないし、話も聞かない。読むとしたら本当に絵とほんの一言ぐらいだと思う。小学生がどういうものかをもっと知ってもらった方がいい。</p> <p>今はギガスクールで紙は配らない。画面で見た時の見栄えも多分考えた方がよい。</p>
高野委員	<p>「アンコンシャス・バイアス」のリーフレットについて、大人向け・子供向けがあるが、べつに子供向けと考えず、初心者向け・入口のような感じの方が良いのかなと思った。</p> <p>対象が小学校高学年から中学生と「中学生」が入るともう少し難しくしなければならないとは思わず、中学生だからと難しくする必要はないと思う。小学生向けに作って中学生にも見てもらって良いと思う。馴染みがない言葉なので。</p> <p>多分、小中学生はダイバーシティについて結構勉強していて先生から聞いていると思うので、大人とか子どもではなく本当に簡単なもの、「こういうものだよ」と簡単に書いた方が入口としては良いのではないかと思った。</p>
國武委員	<p>第4回以降の講座について、「ウ．気象予報士による防災出前講座」を希望する。</p> <p>それと「ス．歴史から見えてくる男女共同参画」、今年のノーベル経</p>

議 事 概 要

事務局	<p>経済学賞を受賞したアメリカの女性は男女の賃金格差についての研究をされた方で、アメリカでもまだまだ男女間格差があるという。そういう流れにきているのかなということもあって希望する。</p> <p>(5)その他</p> <p>①次回（第3回）運営協議会開催日 日時：令和5年12月1日（金） 午後7時～9時 場所：中央公民館 3階 第一会議室</p> <p>②委員との通信について</p> <p>前回会議以降、委員への文書資料の送付について、メールアドレスをいただいている委員にはメールを基本とさせていただいている。ただし、事情に応じ、臨機応変に対応する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	--